

# 成果報告書

環境情報学部・准教授 黒田裕樹

## 1. 活動名称

黒田研究会の野生両生綱観察ならびに研究発表会

## 2. 期間

2018年9月3日(月)～5日(水)

## 3. 場所

湯沢グランドホテル

## 4. 活動の目的

黒田研究会はSFC内において、アフリカツメガエルやイベリアトゲイモリならびにアカハライモリなどの脊椎動物を代表するモデル生物を用いて、初期発生機構の分子メカニズムの解明や環境汚染などのバイオテスト構築などの様々な研究に取り組んでいます。これらの実験動物の中でも、アカハライモリは繁殖が不可能であり、定期的に新潟県等の自然フィールドにおいて、野生型との入れ替え作業を実施する必要となります。この作業には、各種の希少なサンショウウオをはじめとした両生綱の観察も可能となり、特に都会での生活が主となるSFCの学生にとっては、環境学的ならびに分類学的側面からも非常に貴重な経験となります。今年度から、この野生両生綱の観察と日頃の研究内容を発表する会を同時に開催する運びとなりました。この会を通じて、学生達には野生フィールドにおける生物の観察を体験していただき、研究室でのクローズドかつディテールを捉える視点から、よりワイドかつ統括的に生物全体を見渡せる視点を獲得してもらうことを目指しました。

## 5. 活動の内容

活動は大きく、①自然観察と②研究発表に分かれて実施しました。

①について。越後湯沢付近において黒田が大学院時代より対象フィールドとしてる清流ならびに南魚沼の無農薬の田園周辺の自然環境を対象として活動しました。2016年に同地において採取し、研究に利用したアカハライモリを指定されたリリースポイントにおいて放ち、それ以外の場所において、黒田の指示の下、採集ならびに観察活動をしてもらいました。ただし、台風21号が直撃したため、安全面を考慮して、採集・観察については必要最小限(30分程度)で終了としました。

②について。宿泊施設にある会議室において、13人の学生、2名の教員による発表を行いました。また、発表とは別に自由討論の場も設け、より詳細に至るまでディスカッションを実施しました。

## 6. スケジュール

日付	活動
9月3日	10:00 東京駅集合 10:16 東京発 Maxたにがわ315号 11:35 越後湯沢着 13:30-17:30 研究発表会 (会議室利用) 19:00-21:00 研究交流会 (会議室利用)
9月4日	日中は野外活動 19:00-21:00 活動報告会 (会議室利用)
9月5日	9:00-12:00 研究発表会(会議室利用) 午後は越後湯沢付近の文化鑑賞 16:01 越後湯沢発 Maxたにがわ412号 17:28 東京着 解散

## 7. 活動の様子を示す写真



## 8. 感謝

今回、湘南藤沢学会の支援を受けることによって、発表活動ならびに現地での生活について、非常に有意義な活動を行うことができました。学生らからも、会議室のクオリティの高さならびに宿泊・交通費の料金の大きな割引について、喜びの声を耳にしました。また、このような支援を受けているという事実が、学生らにとって、発表のクオリティを上げることへのモチベーションを高めた模様で、成果発表の場として、全員が周到な準備を行い、十分なクオリティの発表を実施くれました。本助成なくして、今回の研究会合宿の成功はあり得なく、心より感謝する次第です。